派遣前から帰国まで JICAボランティアを追う!!

梨杏里がサモアに行くって Really? 01

… 派遣前編 …

このコーナーでは青年海外協力隊として10月にサモアへ出発した田畑梨杏里さんの活躍する姿を追っていきます。

青年海外協力隊員 田畑 梨杏里さん　石川県・七尾市出身。職種は障がい児・者支援で、派遣国はサモア。高校生の頃から海外に住んでみたいという夢を持ち、青年海外協力隊に参加。

今回は任国への出発前に『シェア金沢※』で住み込みで研修をした田畑さんにいくつかの質問にお答えいただきました。

※シェア金沢…高齢者、大学生、病気の人、障がいのある人、分け隔てなく誰もが、共に手を携え、家族や仲間、社会に貢献できる街（複合施設）。【シェア金沢HPより】

Q1. なぜ『シェア金沢』で研修をしたかったのですか?

田畑さん：理由は2つあります。ひとつは、障がいをもつ子ども・老人・学生が助け合いながら暮らしている造られた街ってどんな所かを感じたい。もうひとつは任国で障がいを持つ子ども達とスポーツをする予定であり、そんな子ども達の生活の場面を知りたいと思ったからです。

Q2. シェア金沢での活動内容を教えてください。

田畑さん：一緒に住んでいる子ども達と、朝の準備をして、朝食を食べて、学校や作業所に行くのを見送ります。夕方帰ってきた子ども達と一緒に夕食を食べ、お風呂に入って就寝するまで、お話をしたり、テレビを見たり、運動をしたりしていました。
日に日に私にも慣れてくれて、話してくれることが多くなりました。
毎日規則正しく動く子もいれば、日によって全く様子が違う子もいました。些細な変化に影響されやすい心の様子を間近で見ることができました。
子ども達が家にいない時間は、デイサービスでのお話を聴いたり、アクティビティへの参加、配食サービスや食堂での就労支援の体験、生活介護の方の余暇時間を共に過ごす、放課後デイサービスでの運動教室への参加など、いろいろなところに顔を出させていただきました。
今回、様々なタイプの発達障がいを持っている子ども達と共に生活し、日本での施設の生活場面と支援体制、家族との関係等を知ることができました。受け入れてくださり、たくさん体験させてくださったシェア金沢の皆様に感謝しています。

Q3. いよいよ任国でボランティア隊員としての活動が始まりますが、抱負をお願いします。

田畑さん：任地では子ども達を取り巻く環境が全く違うと思いますが、生活の基盤を知ることで変化にも気づきやすいと思うので、貪欲に生活場面の情報を得ようと思います。楽しみです。

今回はここまで！ 次回もお楽しみに！

▼デイサービスでアクティビティに参加

▲幼稚園の運動教室の様子

▲同居人と寝る前に軽く運動

青年海外協力隊員 現地からの声 東ティモール編

今回は、東ティモールで薬剤師として活躍中の高橋 理紗子さん（富山県出身）

東ティモールは2002年に独立した東南アジアの小さな島国で、国造りの真っ最中です。街を離れると美しい自然が広がっています。
海ではワニやイルカがみられ、先日はジュゴンもいたそうです。年中暑い気候で、おいしいフルーツやコーヒーが作られています。
私の主な活動は国内で一番大きな病院での在庫管理業務改善です。この国では医療に関して様々な問題を抱えており、緊急時でも病院が遠く治療を受けられなかったり、病院に来ても薬が無かったりということがよくあります。この国のためにできることを模索しながら、現地の人々から様々な考え方や人の在り方を学んでいる毎日です。

ヘルスセンターでの活動

首都の海（丘の上に見えるのはキリスト像）

東ティモールの子供たち

2016年度 海外プログラム〔グループ銀河〕

2016年度市民参加協力事業「海外プログラム」※の採択先であるグループ銀河が、スリランカでの現地調査を実施。現地での女性の就労機会創出の可能性を探してきました。

※JICA草の根技術協力（支援型など）への応募を考えているNGOや市民団体に対し、実際の国際協力に結び付けるきっかけ作りや交際協力の知識の普及及び理解の増進を図るプログラムです。

スリランカ

『スリランカとは「光輝く（スリ）島（ランカ）」を意味する。その名のとおり北海道の8割程の国土に8つもの世界遺産がある。
今この国には、世界の観光客が押し寄せており、スリランカは現在建設ラッシュが進み、世界的なホテルチェーンも進出し始め、景気はインフレ気味となっている。貧富の差が拡大し、海外への出稼ぎと国内の労働力不足は顕著なものとなっている。1950年代当時は、日本より豊かな国であったが、現在もあまり進んでおらず、その生活水準は、4～50年前の日本を見ているようだが、今後、健全に発展するように少しでも手助けしたい。』写真はスリランカの街並み。
高級ホテルや建設ラッシュが垣間見えます。

出発ボランティア

いってらっしゃい～

富山 → モルディブ

[派遣国] モルディブ　[職　種] 音楽
神谷 桂二郎さん
モルディブは情操教育を重視しており、希少人材である音楽教師に大きな期待が寄せられています。モルディブとの国交樹立50周年の節目に派遣される名誉に恥じない活動をしたいと考えています。

石川 → ケニア

[派遣国] ケニア
[職　種] コミュニティ開発
塚本 佳代さん
HUJAMBO！（こんにちは！）ケニアに行って自分に何ができるかまだわからないことも多いですが、ケニアのことをよく知ってできる限りのことをしたいと思います！NITAJITAHIDI！（がんばります！）

石川 → グアテマラ

[派遣国] グアテマラ
[職　種] 環境教育
中西 佑希子さん
2016年度3次隊でグアテマラに環境教育隊員として派遣予定です。
現地の方と一緒に様々な経験を積み、自身のスキルも精神も磨いてきます！

帰国ボランティア

おかえりなさい～

- 高坂 知樹さん（富山県高岡市）ジャマイカ／行政サービス
- 長根尾 和子さん（石川県羽咋郡）マラウイ／青少年活動
- 山下 絢子さん（石川県金沢市）ボリビア／栄養士
- 菊田 楓さん（石川県金沢市）キルギス／青少年活動
- 山口 未夏さん（石川県金沢市）ガーナ／コミュニティ開発
- 新谷 好生さん（石川県小松市）フィリピン／コミュニティ開発
- 新宅 千里さん（石川県能美市）ボリビア／小学校教育
- 和田 賢さん（石川県白山市）セントルシア／音楽
- 竹本 沙織さん（福井県坂井市）セネガル／小学校教育
- 山田 真希さん（福井県福井市）ニカラグア／理学療法士

帰国報告

民間連携ボランティア制度を利用し、隊員として活躍された**山口未夏さんに帰国報告をしていただきました。**

民間連携ボランティア制度とは、各企業のニーズに合わせ、受入国や要請内容、職種、派遣期間等をカスタマイズし、企業と連携してグローバル人材を育成するプログラムです。

『ガーナでは、現地の人と一緒にジャムパンとドリンクの製造、販売を計画から仕入れ、生産、管理、販売、資金管理まで一緒に行っていました。言葉が分からなくても親身になって対応する姿勢はずっと持ち続けて、海外のお客様と接していきます。』

帰国後、職場にて　派遣中の山口さん

派遣中ボランティア

がんばってマ～

富山県	高岡市 5 名、富山市 7 名、滑川市 2 名、上市町 1 名、小矢部市 1 名、黒部市 2 名　**合計 18 名**
石川県	金沢市 5 名、小松市 2 名、野々市市 2 名、七尾市 1 名、白山市 1 名、かほく市 1 名、輪島市 2 名、加賀市 1 名　**合計 15 名**
福井県	越前市 4 名、小浜市 2 名、坂井市 2 名、福井市 3 名、永平寺市 1 名、あわら市 1 名、大野市 2 名、越前町 1 名　**合計 16 名**

JICA北陸からの告知

- **2月4日（土）教師海外研修実践報告会 開催！**
  P2-3でご紹介しました、2016年度JICA教師海外研修や研修後の実践授業の成果について紹介します。国際理解教育に関心のある方、どなたでもご参加いただけますので、どうぞお気軽にご参加ください。
  【お問合せ・お申込み】JICA北陸／木水 Tel：076-233-5931 Email：Kimizu-Tsutayo.2@jica.go.jp
- **2月23日（木）午後 富山市にて「富山県・JICA連携 海外展開支援セミナー」開催！ お楽しみに!!**
  詳細が決まりましたらJICA北陸ホームページ、Facebookよりお知らせします。チェックしてくださいね！

JICA北陸 新スタッフ紹介

進路相談カウンセラー　五十嵐 枝折

10月より、帰国隊員の「進路相談」を担当しています。任地での貴重な体験を少しでも多く聴かせていただき、お一人おひとりが「納得して満足できる進路決定」ができるように支援していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今号では教師海外研修、その後の実践事業の記事を大きく取り上げました。授業をうけた児童・生徒たちが、この時学び、感じたことを忘れないでほしいと思いました。

独立行政法人 国際協力機構 北陸支部（JICA北陸）
〒920-0853　石川県金沢市木町1-5-2 リファーレ（オフィス棟）4階
TEL 076-233-5931　FAX 076-233-5959
JICA北陸ウェブサイト http://www.jica.go.jp/hokuriku/

Find us on　JICA北陸

こちらからアクセスしてね！

R80 古紙パルプ配合率80％再生紙を使用

JICA北陸's World

News Letter 2017 NEW YEAR 新春号

北陸から国際協力を発信！

みんなの国の HAPPY NEW YEAR!!

みんなの国の"ハッピーニューイヤー"は何て言うの？JICA研修員のみなさんから、各国のお正月の過ごし方とともに教えてもらいました！

カメルーンの"ハッピーニューイヤー"
BONNE ANNEE
【ボン アネ】
まず、カメルーンの大統領の演説があります。そして大晦日には"聖人シルベスター一教皇の夜"があるので教会に行きます。洗礼と"聖体"という聖霊の恵みを受けるとされる儀式を行います。

ウォルターズさん（カメルーン）〔SATOYAMAコース〕

エミさん（コソボ）〔SATOYAMAコース〕

アルバニアの"ハッピーニューイヤー"
GËZUAR VITIN E RI
【ゲズア ヴィティン エリ】
アルバニアでは祖父、祖母、おじさんやおばさんを含め家族全員で記念写真を撮ります。そして、家族の幸せを願い赤い服を着ます。

エニさん（アルバニア）〔SATOYAMAコース〕

コソボの"ハッピーニューイヤー"
GËZUAR VITIN E RI
【ゲズア ヴィティン エリ】
コソボでは多くの人達は家族や最愛の人と家で、クリスマスツリーとソファのそばで過ごします。雪の降る年もあって美しい景色が見られます。

ネパールの"ハッピーニューイヤー"
Naya Barshako Shuvakaamanaa
【ナヤ バールサコ スーヴカーマナ】
私たちは地域ぐるみで、新年にサッカーの試合をします。そしてお寺に行きヒンズー教の神様にお祈りをします。

マノジュさん（ネパール）〔SATOYAMAコース〕

エンリケさん（ブラジル）〔日系IoTコース〕

ブラジルの"ハッピーニューイヤー"
FELIZ ANO NOVO
【フェリス アノ ノヴォ】
海や通りで花火を打ち上げ、盛大に祝います。そして海に行き、新たな年に"良いことがありますように"と願いながら、波を7回飛び越えます。海の神様に向けて白い花を投げたりもします。お正月には大きなステーキも食べますが、私は日系人なので、日本的なお雑煮やお寿司も食べて過ごします。

インドの"ハッピーニューイヤー"
Nav Varsh Mangal May Ho
【ナム ヴァルシュ マンガール メイホ】
元旦には最愛の人と、お祭りのようにパーティ、ピクニック、ゲーム、踊ったり飲んだりしてお祝いをする人達もいますが、一般的には家族でパーティをしたりショッピングに行ったりして過ごす人達が多いです。

クマルさん（インド）〔SATOYAMAコース〕

パプアニューギニアの"ハッピーニューイヤー"
Hepi Niu Yia long yupela olgeta
【ヘピ ニューイヤ ロング ユペラ オールゲタ】
熱い石を使う伝統的なお正月料理がたくさんあります。私の母がつくる料理は、バナナの葉で野菜と魚を包み、ココナッツの殻に入れます。そこへ熱い石を入れるとココナッツ味のスープになり、とても美味しいです。

ラニさん（パプアニューギニア）〔SATOYAMAコース〕

キューバの"ハッピーニューイヤー"
FELIZ AÑO NUEVO
【フェリス アニョ ヌエヴォ】
親戚一同集まり、串に刺さった大きな豚の丸焼きを食べます。バケツに入った水を家の中から外に向かって流し出し、去年の悪いものを追い出します。年越しには花火をして"あけましておめでとう!"を言い、キスをします。

ジョエルさん（キューバ）〔日系IoTコース〕

グスタボさん（メキシコ）〔日墨コンピュータコース〕

メキシコの"ハッピーニューイヤー"
FELIZ AÑO NUEVO
【フェリス アニョ ヌエヴォ】
家族や友達と"ロメリトス"という海藻とエビが入った料理、"パカラウ"という魚料理やぶどうを食べ、主に"シードル"（りんご酒）を飲みます。愛情に恵まれたい人は赤い下着を、お金に恵まれたい人は黄色い下着に替え、新年を迎えます。